



電力インフラグループ

国内外の強い需要に応えるべく、
生産能力の増強と生産効率の向上で
更なる成長を目指していきます

常務執行役員
電力インフラグループ長 | 今 伸一郎

経営指標

2024年度実績

受注高

1,258 億円

2027年度計画 1,110億円

売上高

864 億円

2027年度計画 1,110億円

営業利益(営業利益率)

79 (9.2%) 億円

2027年度計画 105億円 (9.5%)

前中期経営計画
成果と課題

成果

- ▶ アメリカ、インド拠点の黒字化。シンガポール、ドイツ拠点における収益性改善
- ▶ 環境対応製品の拡販及び高電圧化に向けた開発
- ▶ 国内工場での稼働の平準化による収益性改善

課題

- ▶ 生産負荷に対応する設備の増強及び老朽化した設備の更新
- ▶ 生産の効率化に資するDX推進
- ▶ 生産・開発における技術人財の確保

機会

- 欧州の環境規制強化や北米の脱炭素計画、更新需要増加に伴う当社特長製品の商機拡大
- 国内でのレベニューキャップ制度導入による経年設備の計画更新の需要拡大
- 国内での再エネ比率向上に向けた水力・風力需要の拡大及び系統調整力の強化に伴う蓄電システムへの投資増加

リスク

- 地政学リスク・為替・各国の貿易や投資政策などの大きな変化
- 大型案件の売上時期の後ろ倒しや採算性の悪化
- 環境政策の後退リスクにより市場が変化する可能性
- 競合他社の設備投資拡大による受注競争の激化

強み

- 国内電力会社への長年にわたる豊富な納入実績 と国内拠点の保守対応力
- 環境対応製品の製品力と海外拠点含めた最適コスト・供給力
- 電力変換製品での蓄電池、系統連系含めたシステム対応力
- 再エネ電源に関わるO&M知見(水力・風力)

「中期経営計画2027」における成長戦略

国内では水力発電システム、変電機器、蓄電システムの3分野にリソースを集中し、それぞれ、中小水力発電の総合プロバイダー化、変圧器工場を中心とした生産能力の増強、蓄電池メーカーとの戦略的パートナーリングによるシステム提案力の強化を図ります。海外拠点では、北米向け245kV真空遮断器の開発をはじめ、欧州での真空遮断器の新規市場開拓などを展開します。追い風である事業環境を捉え、明電グループの技術優位性を活かした成長戦略を実行するとともに、その源となる、技術人財の確保にも注力します。



水車発電機

成長戦略 1

設備及び製品力強化、DXによる生産プロセスの効率化

国内では、生産能力の増強とDXによる生産の効率化を軸にトップライン拡大に取り組みます。生産キャパシティが逼迫している変圧器工場では試験スペース増設などを通じて、生産能力の拡大を図ります。また、スマートファクトリープロジェクトを立ち上げ、工場内の中央管制システムを活用した設備故障予知と低稼働リソースを把握することで、常時、生産プロセスの改善指示が可能な体制を目指します。



拡張した変圧器工場試験エリア

成長戦略 2

海外新市場の開拓及び事業領域の拡大

海外では、2028年から開始する欧州市場におけるFガス規制導入を機に、環境対応製品である真空遮断器の欧州での拡販を図ります。また、アメリカでは真空遮断器のラインアップに123kV機種を追加し、更には工場建屋増設により生産能力を2倍に向上させ、真空遮断器の普及を加速していきます。再エネ需要の拡大に伴い、変圧器の売上を拡大してきたインドでも、生産能力を2割増強するとともに、インド送電公社への参入により事業領域を拡大することで、持続的な成長を目指します。

事業戦略を通じたマテリアリティの解決

1 カーボンニュートラル社会の実現

北米及びカナダ市場におけるSF₆ガスフリー真空遮断器の累計出荷台数1,500台突破

2024年度実績

2 価値提供のアップグレード

自治体などとの共創を通じた、製品提供からO&M、売電事業までを担う水力サービスプロバイダ事業への進化

中計2027展開

3 安心・安全・便利な社会の実現

インド送電公社への参入により、インドの産業勃興を安定した電力供給で支える

中計2027展開

TOPICS

小笠原諸島・母島にVSG-PCS納入 仮想同期による再エネ導入の系統安定化

明電舎は東京電力パワーグリッド株式会社向けに、小笠原諸島・母島において仮想同期発電機機能付き蓄電池用インバーター(VSG-PCS)を納入しました。VSG-PCSは、2025年8月に開始した母島における再エネ電源比率100%を目指すためのマイクログリッド実証実験で活用されます。再エネ導入拡大に伴い、電力系統の慣性減少による周波数安定性の低下が問題視されており、特に同期発電機への依存度が高い島嶼部では大きな課題となっています。VSG-PCSは同期発電機と同等の

慣性力^{※1}・同期化力^{※2}をインバーターで実現し、系統の周波数の安定化に貢献します。明電舎は今後もVSG-PCSの納入を通じて島嶼部における再エネ導入の拡大と安定した電力供給を支援していきます。

※1 電力系統が周波数を維持し続けようとする力。慣性力が大きい方が、電力系統で需給バランスが崩れた際に、周波数変動(変化量、変化速度)が小さくなる。
※2 同期発電機が並列運転している状態で同期状態を乱す系統擾乱があった場合などに、元の状態に戻そうとする復原力。